

日本図書館情報学会会報

No. 134

2009年6月

日本図書館情報学会事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 内

E-mail: jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

学会ホームページ: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>

ゆうちょ銀行 019 店 口座番号 当座 0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

2009年度の事業計画・予算案を提案するにあたって

日本図書館情報学会会長 根本 彰

昨年度は「百年に一度の経済危機」が世界の隅々にまで及び、会員諸兄弟の中にもただならぬ経験をされた方も少なくないのではないかと拝察します。その間、経済学者のなかには生きているうちにこういう経験ができるとは思わなかったと発言する人がいましたし、市場原理主義理論を先導した過去を自己批判する書物を書いた人もいました。いずれも今進行している経済と経済学が密接に結びつき、相互に強い影響力をもち、またそのために経済学者の責任が問われることがあることを示しています。

ひるがえって図書館情報学の場合はどうでしょうか。現在の図書館の状況やデジタル情報の流通などにどのように関わりをもっているのでしょうか。この点についてわたくし個人は必ずしも満足しておりません。本学会は、そもそも図書館法の制定によって大学で図書館員の養成が必要になったことをきっかけとして、図書館学の研究教育に関する交流の場としてスタートしました。しかしこれは研究教育が実践から切り離されていることを意味するのではなく、密に切り結びあうべきことを意味しています。学会活動は単に研究発表の場に限定させずに社会的なコンテクストを意識しなければなりません。

その意味で、本年3月に本学会が主催団体のひとつとなったアジア太平洋図書館・情報教育会議(A-LIEP 2009)は、現代日本の図書館関連の事象がデジタル情報ネットワークと国際的なコンテクストに無限につながっていることをまざまざと感じさせるものでした。この会議については三輪眞木子国際委員長から学会誌で報告される予定です。私にとっては、この場で何人もの若手会員が積極的に発表を行ったことが印象に残っており、共同主催した筑波大学のスタッフとともに本学会にも国際学会主催のノウハウが蓄積されたことはたいへんよかったと考えています。

さて、現執行部は昨年4月のスタート直後に学会の財政危機が深刻であることを認識し、通信総会では、学会の財政状態についてお知らせしたうえで、どのような方向の解決法があるのかについて正会員にアンケート調査をお願いしました。その結果について、会報131号(2008年11月)で中間報告したように、ひとまずの危機を乗り越えることができました。危機の最大の原因は学会誌印刷費の高騰にありましたが、印刷会社との話し合いを行い、しばらくのあいだ割り引いてもらうことで解決したことをご報告します。

この点については学会誌印刷費の昨年度の決算額、および今年度の予算額をご覧ください。また、決算で前年の繰越金が10万円弱であったのに対して、今回の繰越金が約160万円あることをご確認いただきたいと思います。とりあえずの危機はさりましたが、構造的な問題が解消したわけではないので今後ともいただいたご意見をもとにしながら学会活動について中長期的な見通しをもって計画する予定です。

今年度は基本的に昨年度と同様の事業を予定しています。研究集会の開催や学会誌の刊行などもっとも基本的事業を執り行うとともに、昨年度学会が主催団体になったA-LIEP 2009をきっかけとして学会の国際化への対応を継続して行います。

そのなかで新しい事業として提案するのが、図書館情報学検定試験実施検討委員会の発足です。2006年のLIPER報告の提言を受けて、学会に図書館情報学検定試験実行可能性検討委員会を設置し本学会としての実行可能性を検討してまいりました。そして昨年度末に同委員会が実行可能であると報告したことを受けて、次の準備段階に移行しようとするものです。ただ、報告では学会の単独事業としては難しいので外部資金を導入することを求めています。そのため、今年の事業計画では、名称を変えて実施検討委員会としこれを中心として外部資金を獲得する努力を行い、首尾よく獲得できた場合にはそれを学会会計に組み入れて実施することを予定しています。

図書館員養成がそもそものきっかけで始まった本学会ですから、こうした社会的な影響をもつ事業を実施することには大きな意味があります。しかしながら同時に大きな責任も生じる事業でありますので、慎重に検討を行い、その経過について今後、逐次、お知らせし、ご意見をいただきながら実施することにいたします。

2009年度定例(通信)総会

正会員各位

日本図書館情報学会会長 根本 彰

記

投票期日： 2009年7月15日(水)(当日の消印までを有効とする)

議題： 第1号議案 2008年度事業報告
第2号議案 2008年度決算報告および会計監査報告
第3号議案 2009年度事業計画案
第4号議案 2009年度予算案

【第1号議案】 2008年度事業報告

1. 2008年度総会の開催

(1) 定例(通信)総会

議案に対する投票締切日を2008年6月21日(土)として実施し、全議案が成立した。

(2) 臨時総会

2008年11月16日(日)、帝塚山大学(奈良県奈良市)を会場として開催した。

2. 第56回研究大会の開催

第56回日本図書館情報学会研究大会を、2008年11月15日(土)～16日(日)の2日間、帝塚山大学(奈良県奈良市)にて開催した。発表24件、参加者179名であった。

3. 研究大会におけるシンポジウムの開催

帝塚山大学で開催された第56回研究大会2日目の午後に、「情報リテラシー教育と図書館：図書館情報学における研究の意義と課題」と題してシンポジウムを開催した。

4. 『日本図書館情報学会誌』の発行

第54巻 第2号(2008年6月号) 第54巻 第3号(2008年9月号)
第54巻 第4号(2008年12月号) 第55巻 第1号(2009年3月号)
を発行した。

5. 会報の発行

No. 130(2008年6月) No. 131(2008年11月) No. 132(2009年1月)
を発行した。また、会報の送付・配信に先立って、会報速報版(-FI:PDF版)の電子メール配信を行った。
No. 130-FI(2008年4月) No. 131-FI(2008年8月)

6. 「シリーズ・図書館情報学のフロンティア」の刊行

No. 8『変革の時代の公共図書館』（編集責任者：荻原幸子氏）を刊行した。No. 9『情報アクセスの新たな展開：情報検索・利用の最新動向(仮題)』の企画・編集を進めている。

7. 日本図書館情報学会賞／奨励賞

(1) 2008 年度日本図書館情報学会賞

図書館情報学の進展に寄与する正会員の優れた著作で2006年度もしくは2007年度に刊行されたものを対象として選定を行い、「日本図書館情報学会賞」を授与した。

・学会賞

倉田敬子氏(慶應義塾大学文学部)

受賞著作：『学術情報流通とオープンアクセス』勁草書房. 2007, 196p.

(2) 2008 年度日本図書館情報学会奨励賞

図書館情報学の進展に寄与する個人会員の優れた著作で『日本図書館情報学会誌』第53巻第2号から第54巻第1号までに掲載されたものを中心に、若手研究者の優れた業績を優先的に評価し、「日本図書館情報学会奨励賞」を授与した。

・学会奨励賞

気谷陽子氏(筑波大学図書館)

受賞論文：「学術情報システム」の総体としての蔵書における未所蔵図書の発生」日本図書館情報学会誌. Vol. 53, No. 2, June 2007, p. 103-121.

8. 日本図書館情報学会活動貢献賞

本学会の運営、事業、会員サービスの向上等に関して、その功績が顕著であると認められる学会員に「学会活動貢献賞」を授与した。

・学会活動貢献賞

福田求氏(獨協大学経済学部)

受賞理由：「図書館情報学文献目録データベース(BIBLIS)の構築をはじめとする積年にわたる学会活動への貢献による。」

9. 研究助成の募集ならびに交付

研究助成の募集を行い、審議の結果、1件(須賀千絵氏)に助成した。

10. 学会誌の電子的提供

NII-ELSを通じて、『日本図書館情報学会誌』掲載論文の電子版を、会員には無料で、一般には有料(3年以前の雑誌はサイトライセンス、5年以前は無料)で提供した。

11. 広報・渉外活動

(1) 日本図書館情報学会英語版ホームページを作成・公開した。

(2) 他団体からの案内等を掲載する会員向けメールマガジンの No. 151~170 を発行し、希望する会員に配信した。

(3) 会報 No. 131 より、「冊子版(メール便送付)」と「PDF版(電子メール配信)」の内容を同一のものとし、学会広報の電子化を推進するよう努めた。

12. 図書館情報学検定試験実行可能性の検討

「情報専門職養成をめざした図書館情報学教育の再編成」(科学研究費補助金基盤研究(A), 略称LIPER2) 研究班と密接に連携して2008年10月に準備試験を実施し、その結果を評価した。また、2009年3月8日に筑波大学において、ワークショップ「図書館情報学教育の国内カリキュラムの標準化に向けてー日本における図書館情報学検定試験についてー」を開催した。

13. A-LIEP 2009 の主催

2009年3月6-8日に開催された、2009年アジア太平洋図書館・情報教育国際会議(A-LIEP 2009)を

共同主催した。口頭発表 45 件，ポスター発表 18 件，パネル討論，シンポジウム，スポンサーセッションが実施され，30 カ国から 186 名が参加した。

14. 理事会・常任理事会の開催

(1) 理事会

第 1 回

2008 年 5 月 17 日(土) 東京大学

第 2 回

2008 年 10 月 14 日(日) 帝塚山大学

(2) 常任理事会

第 1 回

2008 年 4 月 24 日(木) 東京大学

第 2 回

2008 年 7 月 17 日(木) 東京大学

第 3 回

2008 年 10 月 2 日(木) 東京大学

第 4 回

2009 年 3 月 30 日(月) 東京大学

15. 委員会の開催

(1) 学会賞選考委員会

第 1 回

2008 年 7 月 17 日(木) 東京大学

第 2 回

2008 年 8 月 7 日(木) 慶應義塾大学

第 3 回

2008 年 10 月 10 日(金) 慶應義塾大学

(2) 編集委員会

第 1 回

2008 年 6 月 5 日(木) 筑波大学

第 2 回

2008 年 9 月 29 日(月) 慶應義塾大学

第 3 回

2009 年 2 月 6 日(木) 慶應義塾大学

(3) 研究委員会

第 1 回

2008 年 5 月 10 日(土) 慶應義塾大学

第 2 回

2009 年 3 月 27 日(金) 慶應義塾大学

(4) 国際委員会

第 1 回

2008 年 5 月 28 日(火) 慶應義塾大学

第 2 回

2008 年 6 月 25 日(水) 慶應義塾大学

(5) 総務委員会

第 1 回 2008 年 5 月 24 日(土) 筑波大学

16. 会員現況(2009 年 3 月 31 日現在)

名誉会員(1) 正会員(641) 学生会員(72) 団体会員(46) 賛助会員(4)

【第 2 号議案】 2008 年度決算報告および会計監査報告

【一般会計】

(収入の部)

項目	予算 (円)	決算 (円)	摘要
1. 会費			
正会員	3,540,000	2,969,500	正会員 5,000×592 人+6,500×1 人 +3,000×1 人
学生会員	172,000	126,000	学生会員 2,000×63 人
団体会員	720,000	710,000	団体会員 15,000×47 機関+国立国会図書館納本分

	賛助会員	200,000	200,000	賛助会員 50,000×4 機関
	入会金	50,000	32,000	32 件
2. 広告料	広告料	250,000	250,000	25,000×4 件+30,000×5 件
3. 学会誌売上代金	学会誌売上代金	1,592,500	1,552,000	
4. 雑収入	雑収入	45,000	57,897	利子 1,169 科学技術振興機構 5,460 電気電子情報学術振興財団 著作権使用料 50,536 その他 732
5. 前年度繰越金	前年度繰越金	95,119	95,119	
	合計	6,664,619	5,992,516	A

(支出の部)

項目	予算 (円)	決算 (円)	摘要	
1. 事務費				
	消耗品	100,000	179,453	文具 封筒 宛名シール 印刷インク
	送料	565,000	478,073	学会誌 54 巻 2 号～55 巻 1 号 ※発送委託費用 含む 会報 130 号～会報 132 号 その他 (宅配便代)
	通信費	160,000	163,209	切手代, EXPACK 代, はがき代 (通信総会用はがき・印刷代を含む), 郵便小包代, 宅急便代
	会費徴収手数料	85,300	63,400	郵便振替加入者負担金
	交通費・旅費	417,000	322,000	理事会 229,500 常任理事会 82,500 会計監査 10,000
	人件費	828,000	489,500	事務局職員 会報発送作業謝金
	会議費	52,000	29,290	会計監査 研究大会 27,400
2. 委員会経費				
	研究委員会	132,500	67,500	交通費 67,500
	編集委員会	400,000	163,617	交通費 77,000 通信費 63,280 会議費 14,207 消耗品費 2,130 その他 7,000
	総務委員会	17,500	17,500	交通費 17,500
	検定試験実行可能性検討委員会	10,000	0	
	国際委員会	80,000	30,000	交通費 30,000
3. 印刷費				
	学会誌印刷費	3,200,000	1,882,147	54 巻 2 号 1,005,480, 54 巻 3 号 318,890, 54 巻 4 号 326,290, 55 巻 1 号 231,487
	学会誌電子化費	21,000	21,000	
	会報印刷費	250,000	153,720	130 号 73,920 131 号 47,880 132 号 31,920
4. 研究大会／集会				
	学会費振込用紙	12,285	12,285	
	研究大会	300,000	300,000	拠出金 300,000
	研究大会シンポジウム	10,000	10,000	講師謝礼 10,000
5. 予備費				
	予備費	24,034	0	
	合計	6,664,619	4,382,694	B
	次年度繰越金		1,609,822	A-B

(次年度繰越金内訳)

ゆうちょ銀行振替口座	241,577
ゆうちょ銀行普通貯金口座	1,122,467
常陽銀行普通預金口座	619,690

現金	32,833
未払い金	406,745
合計	1,609,822

【特別会計】
(収入の部)

項目	予算 (円)	決算 (円)	摘要
1. 印税	100,000	447,259	丸善 348,004 勉誠出版 99,255
2. 雑収入	1,000	1,893	利息 1,893
3. 前年度繰越金	1,485,063	1,485,063	
合計	1,586,063	1,934,215	A

(支出の部)

項目	予算 (円)	決算 (円)	摘要	
1. 研究助成金	研究助成金	100,000	100,000	研究助成金 100,000
2. 学会賞	副賞	150,000	150,000	学会賞 100,000 奨励賞 50,000
	賞状作成	15,000	17,130	賞状 16,500 のし袋 630
	選考委員会	50,000	9,200	交通費 5,000 会議費 4,200
	学会活動貢献賞	50,000	50,000	活動貢献賞 50,000
3. 『図書館情報学のフロンティア』編集費		60,000	14,700	書籍代 14,700
4. 通信費	2,000	525	振込手数料 525	
5. 予備費	1,159,063	0		
合計	1,586,063	341,555	B	
次年度繰越金		1,592,660	A-B	

(次年度繰越金内訳)

常陽銀行普通預金口座	1,554,883
現金	37,777
合計	1,592,660

2008年度監査報告

2009年5月13日、事務局において会計監査を実施いたしました。その結果事務処理、帳簿記入は正確に行われていたことを報告します。

2009年5月13日

監事 古賀 節子 印
阪田 蓉子 印

【第3号議案】 2009年度事業計画案

1. 2009年度総会の開催

(1) 定例(通信)総会

議案に対する投票締切日を2009年7月15日(水)として実施する。

(2) 臨時総会

2009年11月1日(日)に、明治大学(東京都千代田区)を会場として開催する。

2. 第 57 回研究大会の開催

第 57 回日本図書館情報学会研究大会を、2009 年 10 月 31 日(土)・11 月 1 日(日)に、明治大学 駿河台キャンパス(東京都千代田区)にて開催する。

3. 2009 年春季研究集会の開催

2009 年春季研究集会を、2009 年 5 月 23 日(土)、駿河台大学 飯能キャンパス(埼玉県飯能市)にて開催する。

4. 研究大会におけるシンポジウムの開催

研究大会 2 日目午後に、「ネットワーク時代の情報アクセス：サーチエンジンと Web2.0(仮題)」をテーマとしてシンポジウムを開催する。

5. 『日本図書館情報学会誌』の発行

第 55 巻 第 2 号(2009 年 6 月号) 第 55 巻 第 3 号(2009 年 9 月号)

第 55 巻 第 4 号(2009 年 12 月号) 第 56 巻 第 1 号(2009 年 3 月号)

を発行する。

6. 会報の発行

No. 133(2009 年 4 月) No. 134(2009 年 6 月) No. 135(2009 年 10 月) No. 136(2010 年 1 月)

を発行する。

7. 「シリーズ・図書館情報学のフロンティア」の刊行

No. 9『情報アクセスの新たな展開：情報検索・利用の最新動向(仮)』を刊行する。No. 10『図書館・博物館・文書館の連携と統合(仮題)』の編集を開始する。また、No. 10 刊行後のシリーズのあり方について検討する。

8. 学会賞ならびに学会奨励賞の選考および授与

(1) 図書館情報学の進展に寄与する正会員の優れた著作で 2007 年度もしくは 2008 年度に刊行されたものを対象として、「日本図書館情報学会賞」を授与する。

(2) 図書館情報学の進展に寄与する個人会員の優れた著作で『日本図書館情報学会誌』第 54 巻第 2 号から第 55 巻第 1 号までに掲載されたものを中心に、若手研究者の優れた業績を優先的に評価し、「日本図書館情報学会奨励賞」を授与する。

9. 研究助成の募集ならびに交付

図書館情報学振興のために、会員が個人としてあるいはグループとして計画した研究 1 件ないし 2 件に対し、研究の遂行ならびにその結果のとりまとめに要する経費の一部を助成する。

10. 学会活動貢献賞

本学会の運営、事業、会員サービスの向上等に関して、その功績が顕著であると認められる学会員に「学会活動貢献賞」を授与する。

11. 学会誌の電子的提供

NII-ELS を通じて、『日本図書館情報学会誌』掲載論文の電子版を、会員には無料で、一般には有料(3 年以前の雑誌はサイトライセンス、5 年以前は無料)で提供する。

12. 学会広報の電子化

学会ウェブサイトの更新、ならびに、会報・メールマガジンなどを配信するとともに、学会広報の電子化を推進する。

13. 図書館情報学検定試験実施検討委員会

「図書館情報学検定試験実行可能性検討委員会」は、「図書館情報学検定試験実施検討委員会」と改

称し、2008年度に引き続き、「情報専門職養成をめざした図書館情報学教育の再編成」(科学研究費補助金基盤研究(A)、略称 LIPER2) 研究班と密接に連携して準備試験を実施する。また、準備試験の実施のために外部資金の獲得をめざす。

14. 国際委員会

学会活動の国際化を図るため、英語版ホームページの充実を図るとともに、来日中の外国人研究者を招いた国際研究会を開催する。

【第4号議案】 2009年度予算案

【一般会計】

(収入の部)

項目	予算(円)	備考
会費		
正会員	3,695,000	5,000×641人(現会員)+5,000×98人(新入会員30人-退会20人+未納分のべ88人)+1,000
学生会員	166,000	2,000×72人(現会員)+2,000×11人(新入会員10人-退会5人+未納分6人)
団体会員	690,000	15,000×46機関(現会員)
賛助会員	200,000	50,000×4機関(現会員)
入会金	40,000	1,000×40件
広告料	265,000	30,000×8件+25,000×1件(Vol.55, No.2~Vol.56, No.1)
学会誌売上代金	1,470,000	定期購読12,000×仕切0.7×125セット 計¥1,050,000 バックナンバー売上3,000×仕切0.7×200部 計¥420,000
雑収入	50,000	電気電子情報学術振興財団著作権使用料等
前年度繰越金	1,609,822	
合計	8,185,822	

(支出の部)

項目	予算(円)	備考
事務費		
消耗品	200,000	封筒・文具・宛名シールほか
刊行物送料	625,000	学会誌90,000×4号分※発送委託料含む 会報(60,000×3号分+6月号85,000)
通信費	200,000	切手代 EXPACK 総会はがき代(印刷代含む) 郵便代 振込手数料 その他(宅急便代)
会費徴収手数料	80,300	郵便振替加入者負担金
交通費	327,500	理事会100,000 常任理事会22,500×3回 会計監査10,000 事務局職員通勤手当他150,000
人件費	940,000	事務局職員給与70,000×12 会報発送等謝金100,000
会議費	77,000	理事会25,000×2回 常任理事会8,000×3回 会計監査3,000
委員会経費		
研究委員会	132,500	委員交通費42,500×3回 通信費5,000
編集委員会	300,000	交通費54,500×3回 通信費(原稿送付郵送代2,000×35本+その他1,000) 会議費9,000×3回 消耗品費2,500 その他(非会員査読者謝金7,000×3件 雑費15,000)
総務委員会	17,500	交通費17,500
検定試験実施検討委員会	10,000	交通費10,000
国際委員会	80,000	交通費15,000×2回 英文校閲料50,000

国際研究会	12,500	講師交通費・謝礼
印刷費		
学会誌	1,600,000	400,000×4号
学会誌電子化費用	21,000	学会誌 55巻2号～56巻1号 PDF 化作業料 5,000×4号分+消費税 1,000
会報	300,000	150,000(6月号分: 通信総会用葉書および葉書印刷代含む) +50,000×3号分
学会費振込用紙	12,285	900枚
春季研究集会	170,000	春季研究集会事務局経費
研究大会	300,000	研究大会事務局への支援拠出金
研究大会シンポジウム	12,500	非会員パネラー交通費・謝礼
予備費	2,767,737	
合計	8,185,822	

【特別会計】

(収入の部)

項目	予算(円)	備考
印税	100,000	「フロンティア」他
雑収入	1,000	利息等
前年度繰越金	1,592,660	
合計	1,693,660	

(支出の部)

項目	予算	備考
研究助成金	100,000	1件ないし2件に配分予定
学会賞選考委員会	50,000	交通費(15,000×2回), 資料代 10,000, 会議費 10,000
学会賞/副賞	150,000	学会賞 100,000, 学会奨励賞 50,000
学会活動貢献賞/副賞	50,000	学会活動貢献賞 50,000
賞状作成	20,000	
フロンティア編集費	60,000	通信費 15,000, フロンティア購入費 45,000
通信費	2,000	振り込み手数料
予備費	1,261,660	
合計	1,693,660	

図書館情報学検定試験実施の検討について

2008年度の図書館情報学検定試験実行可能性検討委員会の最終報告 (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/aboutus/LIStestreport2008.pdf>) を受けて、本学会は、図書館情報学検定試験の実施検討に着手することにいたしました。5月23日の理事会で、これを次の方針で実行することが了承されましたのでお知らせいたします。

- 1 図書館情報学検定試験実施検討委員会(委員長: 竹内比呂也常任理事)を設置する。
- 2 同委員会は、日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)「情報専門職をめざした図書館情報学

- 教育の再編成」研究チーム（研究代表者：根本彰）と協力して検定試験の実施準備にあたる。
- 3 同委員会は外部資金の獲得を検討し、適切な方法で獲得する努力を行う。
 - 4 外部資金を獲得できた場合には、独立した会計（「検定試験準備会計」（仮称））をつくりそれに入れる。
 - 5 事業案・事業報告の承認、予算・決算の承認、会計監査については、他の事業及び会計（一般会計・特別会計）に準じて行うものとする。

各委員会・事務局から

2009 年度(今年度)の会費納入のお願い

同封の振込用紙により、2009 年度(今年度)分会費について、2009 年 7 月末日までに、所定の金額を納入くださいますようお願い申し上げます。

■日本図書館情報学会会費規程：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/aboutus/kaihi.html>

退会について

退会については特に書式はございませんので、メールもしくは郵送にてご連絡ください。2008 年度末の退会届け出は、2009 年 5 月 31 日が締め切りです。2008 年度までの会費はお支払いください。

事務局受領資料について

- ・酒井 由紀子；クリステル・マーンケ編『ドイツにおける学術情報流通：分散とネットワーク』日本図書館協会，2008 年 10 月

第 57 回日本図書館情報学会研究大会のご案内

第 57 回日本図書館情報学会研究大会を下記の通り開催いたします。

*開催要領

日程：2009 年 10 月 31 日（土）、11 月 1 日（日）

会場：明治大学・駿河台キャンパス

http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html のアクセスマップをご覧ください。

事務局：101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

明治大学司書・司書教諭課程室内

第 57 回日本図書館情報学会研究大会事務局 三浦太郎宛

電話：03-3296-4517，メール連絡先 jslis09@kisc.meiji.ac.jp

参加費（予定）：正会員 4,000 円，学生会員 1,000 円，非会員 6,000 円

懇親会費（予定）：4,000 円

*プログラム（予定）

10 月 31 日（土）

12:00-13:00 受付

13:00-13:15 開会式

13:30-17:00 研究発表

17:30-19:00 懇親会

11 月 1 日（日）

9:00-9:30 受付

9:30-12:00 研究発表

12:00-13:00 昼食（理事会等）

13:00-14:00 臨時総会

14:00-16:50 シンポジウム

16:50-17:00 閉会式

- ・大会 2 日目の午後には「臨時総会」を開催いたしますので、ぜひご参加ください。

- ・大会 2 日目のシンポジウムについては「情報アクセスの新たな展開（仮）」を現在企画中です。このシンポジウムは一般公開といたしますので研究大会参加者以外の方でも無料で参加することができます。

*研究発表募集要項

- 1) 別記の<研究大会・春季研究集会における発表のルールについて>にご留意のうえ、お申し込みください。
- 2) 応募資格 筆頭発表者が日本図書館情報学会の正会員か学生会員であること。
- 3) 発表時間 1 題あたり発表 20 分、質疑 10 分（予定）
- 4) 申込方法 電子メールまたは郵便で「第 57 回日本図書館情報学会研究大会発表申込書」を大会事務局までお送りください。申し込みが受理された場合は、「申込書」記載の発表題目・発表要旨等を大会プログラムおよび Web ページで公開いたしますので、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。
- 5) 申込締切 8 月 31 日（月）
- 6) 申込受理 9 月中旬までに通知します。
- 7) 要綱原稿 10 月 2 日（金）必着で、A4 判 4 枚（図版、資料を含む）の印刷した版下原稿を大会事務局まで郵送していただく予定です。
- 8) 留意事項 発表部会ごとに発表用パソコンとプロジェクタを用意します。これ以外の機器（OHP、ビデオ等）を利用希望（含持ち込み）の方は「申込書」の備考欄に必要機材を明記して下さい。また入試等の公務の都合上、発表不可能な日がある場合は理由とともに備考欄にご記入いただきますようお願いいたします。

*アクセス

JR 中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅 下車徒歩 3 分
東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅 下車徒歩 5 分
都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅 下車徒歩 5 分

*注

- ・宿舎の斡旋はいたしません。

<研究大会・春季研究集会における発表のルールについて>

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認の上、発表申込をしてください。

- (1) 個人会員（正会員・学生会員）は研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは、合わせて 1 回を原則とする。
- (4) 共同研究の筆頭発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 発表要綱の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (6) 発表プログラム公表後のプログラム（発表タイトル、発表者、発表内容、発表時間）の変更は原則として認めない。どうしても変更せざるを得ない場合には、要綱提出の 1 週間前までに研究委員長に理由を付して変更を申し出ること。
- (7) 発表申込、要綱作成、発表、発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は、日本語もしくは英語で行うものとする

第57回日本図書館情報学会研究大会研究発表申込書（郵送用）

2009年 月 日提出

発表者の氏名（所属）	
○共同発表の場合には、非会員に*を付けてください。なお、筆頭発表者が実際に登壇者となることが原則です。	
発表題目	
発表要旨 (1) 背景・目的, (2) 方法, (3) 得られた (予想される) 成果をもれなく、合計800字程度で記述してください。	
備考 (PC, プロジェクタ以外の 機材使用希望, 発表不可能日と その理由等)	
●連絡先（共同発表の場合には代表者1名について記入してください） 氏名（ふりがな）： 住所 〒 ----- TEL FAX e-mail(必ず記入してください)：	
※事務局使用欄	受付番号（ ） 受付日 2009年 月 日

提出期限は8月31日（金）です。大会事務局宛にお送りください。電子メールでの提出書式（テキストファイル）は電子メール版会報で配布します。学会サイト<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>からも入手できます。